# ゆめじゅく

## 瀬戸会館

〒792-0821　新居浜市瀬戸町 7 － 30
Tel：0897-41-5859（Fax 兼用）
E-mail：seto@city.niihama.ehime.jp

瀬戸会館だより

## 明けましておめでとうございます

2016

昨年中は、瀬戸会館の活動に一方ならぬご理解とご協力を賜りありがとうございました。今年も少しずつ小さいですが成長しながら、皆さまに必要とされる瀬戸会館になるよう精進してまいります。また、支えてくださる皆さまに対する感謝の気持ちを忘れず、親しい関係を続けていきながら、昨年同様ご指導を賜る事が出来れば大変嬉しく思います。皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

瀬戸会館活動連絡協議会・瀬戸会館職員一同

明けましておめでとうございます

---

△月◎日（●曜日）　日直　髙津　浦江

## １月の行事予定

★移動図書館青い鳥号
1 月 13 日(水)・27 日(水)
14 時～14 時 40 分

★ゆめじゅく編集委員会
1 月 8 日(金)　13 時 30 分～

★「人権のつどい日」
1 月 11 日(月)　10 時～
1 部：眞鍋　慶子(人権啓発指導員)による
「人権カルタ」・「人権クイズ」
2 部：詩吟サークル・社友会(うた声)による
発表会

★回転木馬（瀬戸児童館）
1 月 19 日(火)　10 時 30 分～11 時 30 分

★人権・同和教育関係行事
1 月 22 日（金）
県隣保館館長・指導職員合同研修会
今治市朝倉福祉センター

---

## 上水道組合の現状を考える地元説明会が開催される。

瀬戸・寿連合自治会
瀬戸・寿上水道組合

１２月１３日（日）１９時から瀬戸寿連合自治会、瀬戸・寿上水道組合共催による地元説明会が瀬戸会館で行われました。この日、寿中央自治会が初めての開催になりましたが、これから年度末に向かって、残り８自治会が順次開催される予定ですので、ご案内がありましたら多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

---

## 新刊紹介～

今年度も図書を購入しました。人権関係の本を中心に十数冊購入しています。１月４日からしばらくの間廊下に展示します。ご自由にお読みください。なお貸し出しも致します。ご希望の方は事務室までご連絡ください。

look at here!
注目

---

## サークル紹介

### 手芸「照」

着物の残り布で小物を作ってみませんか。ちりめん細工は江戸時代の武家や商家など、当時の上流階級の女性たちの手から生まれました。うぐいす袋・セミ袋・金魚袋・おさころ・這い人形・ひな人形など、いろいろ作って、吊るし飾りをしてみませんか。お子さん・お孫さんも喜ぶと思います。なんでも布があれば作れますので、手芸をしてみませんか。お待ちしています。

### スクエアーダンス

**ダンスを踊って　難問パズルを解いた感覚を　味わってみませんか？**

８人がセットになって踊り、聞く、考える、動くの３拍子が合わさった動き　…それが、スクエアーダンスです。「ちょっと難しい?」と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。赤ちゃんが言葉を覚え、動きを楽しむように、自然に覚えていけます。覚えた動きで、10 分程度の１曲を踊りきれば、難しいパズルを解いた達成感が味わえます。

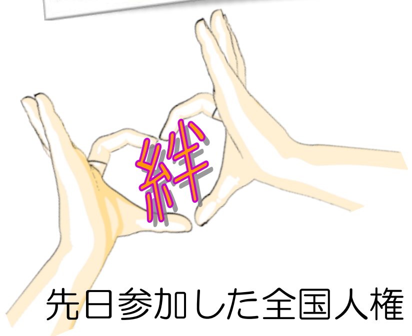
楽しみはこれから　・・・　コスチュームに着替えてパーティに行きましょう!!!

参加する大パーティから、地域内で開かれる小パーティまで…楽しみは尽きません。ちょっと覗いてみようかな?と思われる方は、毎週土曜日午後１時から２階フロアで踊っていますので、ぜひ観に来てください。男性も大歓迎です。

## ふれ愛フェスタ～ハート FULL 新居浜～

グレース第二幼稚園の園児による和太鼓演奏で今年のふれ愛フェスタの幕が開きました。園児たちの可愛らしさからは想像もつかない力強い和太鼓の響きに、多目的ホールの観客も感激の様相。拍手の大きさに気持ちが込められていました。人権かるた優秀作品の表彰式に続いて、手話サークル「たけのこ」さんの手話コンサート。温かさと優しさが客席に伝わりました。「劇団はぢめました」さんによる人権劇は、宇宙人に対する偏見のお話。ほのかなロマンの中に、自分を振り返る時間を頂きました。

午後からの第２部は、蓮池薫さんの講演。拉致され、北朝鮮で 24 年間の生活を余儀なくされた蓮池さんの想いが、淡々とした口調で語られました。蓮池さんの、そして私たちの願いである拉致被害者の問題の一日も早い解決を改めて願いました。



先日参加した全国人権・同和教育研究大会で、コリア NGO センター代表理事の郭辰雄さんの講演を聞いた。郭さんは講演の中で記憶と記録の違いについて、「記録は媒体に(権力によって書き換えることができる)、記憶は人の心の中にある。」と述べている。

話の中で、編集した在日に対するヘイトスピーチのビデオを見た。あまりの激しさに茫然とした。あのような恫喝的発言が公道で平然と許されている事実は、この国の人間として情けなく恥じ入るとともに、強い憤りを覚えた。郭さんは、在日の立場で強制連行の問題等を、「記録がないからといって、記憶を抹殺しようとしている。」と述べていた。彼の心の叫びを聞く思いであった。

奇しくも、その夜見たテレビ番組で、「シベリア抑留の記録はない。ほぼ全ての日本兵は、日本に帰った。」というロシアの歴史学者の発言に、取材で現地を訪れた女優の宮崎淑子さんが涙（悔し涙）を流していた。立場が変わると人の想いもさまざまである。

# 新居浜市人権・同和教育研究大会

昨年 11 月に泉川小学校が会場校の一つとなり行われ、１年・３年・６年の児童が、たくさんの先生や地域の方々の前で、授業に取り組みました。子どもたちは真剣に考え、積極的に自分の意見を発表していました。

**１年**

「一人ぼっちの子に声をかけ友達になる。声をかけられた子の、友達ができる喜びはもちろんであるが、声をかけた子たちも新しい友達ができた喜びを得る。」子どもたちは、資料と学級の仲間で出し合った意見から、「友達と進んで関わり、仲よくしよう」ということの素晴らしさを学んでいました。

**３年**

「友達の短所と思われる面を受け入れ仲間として容認する。そのことで友達と共に自分自身の心を明るくし、絆を深めていく。」子どもたちは、主人公の心情に共感することで、「相手の立場に立って考え、互いに理解し合い、共に行動する。」ことの大切さを学んでいました。

**６年**

「厳しい差別に苦しめられてきた人々が団結し、自ら立ち上がる。」子どもたちは、その姿に共感することで、「日常生活の中で差別や不合理を見抜き、みんなの問題として解決していこう。」という意欲・態度を育んでいました。

子どもたちは、毎日の学校生活の中で、人を大切にする優しさを学んでいます。家庭で、地域で、若い芽を育てる光になりたいものです。

# 第67回全国人権・同和教育研究大会

11 月 21 日・22 日の２日間、第 67 回全国人権・同和教育研究大会が長野県で開催されました。その特別分科会で、全国隣保館連絡協議会事務局長の中尾由喜雄さんは差別について、次のように述べられています。

「震災の時に発揮された温かさ・優しさ、これが地区の人の財産である。それには、地区の人の悲しさも含まれている。『地区外の人が来たら、借金してでもてなす。』という言葉にも、温かさと悲しさが同居している。震災以前にも、地区外の人たちの支援をしようとしたことはある。しかし、それはほとんど拒否されてしまった。**差別をされハンデを持っているからこそ、社会貢献したいという想いは強い。それを拒否してしまうことこそが人権問題である。**人とどれだけ触れ合うか、それが財産。差別はその触れ合いを妨げてしまう。人権活動は常に続けていかなければならない。急展開は望めないが、やめれば確実に無に帰してしまう。着実に歩を進めていこう。」

人と人とのつながりを断ち切ってしまう部落差別をはじめとした様々な人権問題。問題を見つめ、自分に問いかけることで、自分自身の心と生活を豊かにしていきたいものです。